



おばなざわ 市議会だより

平成23年度一般会計予算など25議案を可決



たくましく巣立つ

新生常盤中学校卒業式

1月臨時会	3月定例会	補正予算・議案の審議	2	ページ
		予算特別委員会	3	ページ
		一般質問	6	ページ
		可決された議案	11	ページ
		広域組合議会	13	ページ
		分科会委員長報告	5	ページ
		請願の審査結果	12	ページ
		私のひとこと・あとがき	14	ページ



平成23年度予算を可決

一般会計予算	99億7,700万円
特別会計予算	57億1,282万円
予算総額	156億8,982万円

❖ 平成23年3月定例会は、3月3日から17日までの15日間の会期で開催されました。初日の3日には、加藤市長より平成23年度施政方針が示され、平成22年度一般会計補正予算（2億1千82万円増額）など8案件はじめ、平成23年度一般会計予算、各特別会計予算など7案件、条例改正案および一般議案7案件など計22案件が上程され、そのうち、平成22年度一般会計補正予算など補正予算8案件が審議され、いずれも原案の通り可決されました。また、請願7件は各常任委員会に付託し、審査を行いました。

3月7日、8日には10名の議員が一般質問を行い、市政全般について市長はじめ市当局の考えを質しました。

平成23年度予算については、全議員で構成する予算特別委員会を設置して総括質疑をもって審査し、さらに、3つの分科会で慎重に審査を行いました。

最終日の17日には、追加議案2件、議案案1件が上程され、審議の結果、本定例会に上程されたすべての議案は、いずれも原案の通り可決されました。

なお、平成23年1月臨時会は1月31日に開催され、平成22年度一般会計補正予算（1億8千633万円増額）など3案件が上程され、審議の結果いずれも原案の通り可決されました。

補正予算の審議

銀山温泉の家並保存整備補助金について

質 補助金を出すための審査基準はどのようになっていますか。

答 条例に基づき審査会を行い、決定しています。審査会メンバーは地域代表・学識経験者・市職員で申請内容を審査しています。

質 店舗の改修にも、図面や景観等の基準があるのですか。また、旅館などの基準はどうですか。

答 店舗・旅館などの工事にかかる外面を図面により審査し、屋根・玄関・庇・戸袋の景観審査も行います。

ふるさと振興公社の補正予算について

質 1千450万円の補正予算が必要となった理由はなんですか。

答 徳良湖温泉のボイラー、浄化槽の補修工事分230万円、燃料費値上分と合わせ305万円、森のホテルの売上げは6千800万円を見込んでいましたが6千万円を、花笠の湯の入浴料1千270万円を

見込んでいましたが860万円の実績で、その差額分の指定管理費の見直しをしました。公社の経営が厳しく累積赤字2千700万円、22年の単年度でも1千万円の赤字となっており、一定の資金投入もやむを得ないと考えています。指定管理期間が1年残っていますので、早い機会に森のホテルと花笠大浴場をどうするか、庁舎内に検討委員会を立上げて検討します。

選手派遣費補助について

質 補助の内容はどのようになっていますか。親の負担も増えていると聞きます。なるべく100%補助してほしいと思います。どうですか。

答 中学生の選手派遣をする場合、県大会以上で、参加料・交通費・宿泊料の70%を補助しています。借上げバスも対象です。

倒壊農業パイプハウスへの支援

質 今冬の豪雪により、農業関係ではパイプハウスの倒壊など被害が多く出ていますが、それに対する県の方でも復旧への助成措置を行うような方針です。市としての助成予算措置はどう図りますか。

答 融雪後状況を把握して、23年度予算での対応を考えています。



議案の審議

ふるさと暮らし応援条例

質 尾花沢市ふるさと暮らし応援条例の消融雪装置設置助成事業で消雪用ボーリング井戸の場合、水を地下に戻さないと該当しません。地下浸透枡を設置すれば助成の対象になるのではないですか。

答 直接井戸に戻すのが条例ですが、地下浸透枡を設置した場合は助成に該当します。

ほたるの里郷土資料館

質 尾花沢市ほたるの里郷土資料館の設置及び管理に関する条例の使用料を徴収する条例ですが、地域住民が使用した時の減免は可能ですか。

答 第5条で市長が認め、許可を受けて使用する場合は、この限りではありません。減免して地域の活動に協力して行きます。

子供の医療費無料化と窓口負担について

質 子供の医療費の窓口負担の支払方法がどうなりますか。

答 今年度、小学6年まで医療費無料だったのが23年度から中

学3年まで無料となりますが、今年度より窓口で一旦払って、領収書を市の担当課に出してもらい、口座に振込むようになります。

質 窓口で無料だと大変ありがたいのですが、変更されたのはなぜですか。

答 「窓口支払ゼロだと気軽に医者さんにかかり過ぎる。医者の人数もかぎられている」と医師会からの意見があり、このような方法に戻しました。

1月臨時会

豪雪対策について



質 5年ぶりの豪雪で除雪体制や高齢者の雪対策はどう考えていますか。

答 市道の除雪体制は、不便をかけないよう万全の体制をとつ

ており、予算の不足分は補正予算で対応し、高齢者の除雪は補助券を一枚増発して対応しています。

新鶴子ダムの水利用について

質 新鶴子ダムの水が満水状況になっていますがなぜ使えないのですか。

答 ダムの水利用は行政と議会が一体となって国の方に運動を展開してきましたが、水利権の緩和の問題、使用期間の問題、今後とも関係機関にねばり強く運動を展開していきます。

予算特別委員会

ウォーキングコースの街灯の設置について

質 安全上からもウォーキングコースの暗いところ、危険なところには街灯の設置を行ってはどうですか。

答 前年度中に区長さんを通して要望をいただいています。交通安全、防犯上対応しています。

質 長いコースの関係から多くの地区におよび、担当課も横断しているので建設課だけの対応ではなく、行政として取組ん

でほしいです。

答 多くの地区にまたがっていますし、課も横断しています。いろんな内容ですので関係課で協議して進めていきます。

企業用水の割引き支援

質 食品加工関係の工場は沢山水を使用しますが、本市の場合一般家庭と10㎡当たり基本料金は同額と聞いています。本市立地企業への優遇措置として割引き支援等考慮すべきと思いますがどうですか。

答 福原工業団地の水道水は工業用水ではないので一般家庭用と同様となっています。企業の立地条件の支援として、他の奨励金と合わせ検討していきます。

中小企業緊急融資保証制度

質 不況対策の融資で対象事業数も多く、使い勝手の良い融資制度が3月で打切られますが、本市の利用状況と利用者への影響はどうですか。

答 22年4月から1年間の利用件数は68件、3月に打切られれば28件が該当外となります。その後は残されるセーフティネットに移行しますので、市の振興資金、小口融資を利用していた



上水道の整備状況について

質 上水道の整備は92%です。未整備の8%は、どのような内容で、今後どのようにされますか。

答 世帯数で70世帯程が未整備ですが、希望される世帯については、水道の恩恵を得られるよう、財政等を考慮しながら整備を図っていきます。

消費者のトラブル対策について

質 消費生活相談員を置くようですが、オレオレ詐欺などの消費者トラブルの現状と今後の対策はどのようになりますか。

答 県の消費生活相談センター受付は48件、市民税務課受付は8件ありました。相談員は週に4日勤務で相談にのる体制を進めます。昨年度は、主にトラブルを未然に防止するための注意喚起などのチラシまきや広報活動を行ってきました。

自殺予防対策事業について

質 日本は自殺大国と言われていますが、本市の状況はどうですか。その事業の内容はどういうものですか。

答 県警生活安全企画課によれば今年度の県の死亡数333名の内235名が男性、98名が女性で、本市は全体で9名、男性5名、女性4名でした。自殺対策事業は、ひとつは普及啓発事業で、講演会などを行います。もうひとつは対面事業で、月1回第3月曜日に心の健康相談日を設けます。また、随時電話相談にも応じていきます。

消防行政について

質 消防署員の退職者が毎年増加していますが、業務に影響はしませんか。

答 最近退職者が増加しており、消防活動に影響することも予想されますので、前倒し採用することも検討します。

質 消防の広域化についてはどうなっていますか。

答 7市7町の広域化については、現在協議が中断している状況です。

街路灯について

質 北大石田駅より野黒沢方面まで、街路灯が少ないので増灯してはどうですか。

答 今後、前向きに検討していきます。

長板ソバ日本一について

質 ソバの生産量県一位となっており、長板ソバのイベント等、もっとソバをPRすべきですが、今後の振興策はどうですか。

答 市内各地でソバ打ちが盛んに行われており、市内外に尾花沢のソバを発信していきたい。



市制施行50周年記念「日本一の長板そば」

徳良湖グラウンドゴルフ場について

質 徳良湖のグラウンドゴルフ場の拡張についてはどう考えていますか。

答 今後、用地も含めて検討していきます。

保育園の民営化について

質 今後の日程についてはどうですか。

答 よつば保育園の民営化については、24年度からの民営化に向けて協議中であり、市内の二つの法人のいずれかに決めての移行に向けて、協議を重ねています。なお、職員体制については、可能な限り現在の臨時職員も採用してもらおうと要望していきます。

防災の危機管理体制について

質 防災の危機管理体制の強化について、どのように考えていますか。

答 各集落の自主防災会や福祉隣組の充実、防災訓練などを実施し、防災意識の啓蒙活動を推進していきます。

旧牛房野小学校の跡地利用

質 旧牛房野小学校の跡地利用はどのように考えていますか。

答 市内各地より発掘した遺跡を整理し、陳列したり、「ほたるの里郷土資料館」として、広く市内外にPR、そして地域の活性化を図ります。

保育園の跡地利用について

質 福原地区の旧保育園の利活用はどのように考えていますか。



答 跡地利用として、荻袋保育園は、産直グループの加工所として利用していますが、他の施設は老朽化が激しく、再利用は困難なので解体を検討していません。

銀山温泉家並補助

質 銀山温泉の家並保存条例の対象件数は何軒ですか。

答 昭和61年制定されたもので、大正ロマンの景観を維持するためのもので、銀山地区で34軒がその補助金を受けています。

火災報知機について

質 火災報知機の設置が義務付けられていますが、普及啓蒙はどのようにしていますか。

答 婦人防火協力班を中心に啓蒙活動を展開して、6月からの義務化を前に取りまとめを急いでいます。

農業集落排水事業について

質 宮沢西部地区の農業集落排水の同意率が50%であり、加入率を高めるためにはどう考えていますか。

答 区長さんを中心に、各集落の役員のご協力を得て、普及率を高めていきたい。

予算特別委員会 分科会委員長報告

第1分科会（総務文教）

収納対策は納税相談員拡充や口座振替不能者への通知書の送付、さらにインターネット競売の実施等で収納率を向上にむけ努力する説明がありました。全職員に接遇マニュアルに基づきあいさつの励行や親切丁寧な窓口対応など徹底を図るよう要望しました。新たな定住対策としてふるさと暮らしの応援条例を策定し、若者民間賃貸住宅等家賃助成、除雪機購入補助等の説明があり、さらなる定住対策を要望しました。災害時の避難経路及び避難場所等を市民に周知を図り、防災マニュアルの周知徹底を図るよう要望しました。よつば保育園の民営化の実施で職員の入替えで子供たちに影響が出ないよう要望しました。牛房野小学校の廃校利用したほたるの里郷土資料館は地域の特性を生かした貴重な学習資料であり、今後も空き校舎の利活用を要望したところです。付託された案件について慎重に審査をし、採決の結果賛成多数で原案の通り可決すべきと決定しました。

第2分科会（市民厚生）

悪徳商法等の被害を未然に防ぐために、窓口に消費生活相談員を配置し、相談を行い、他機関との連携を密に図るとの説明を受けました。

老人福祉費について、一人暮らし老人世帯等を把握する地図を作成し、緊急時に早急に対応できるように努める旨の説明を受けました。

子育て支援医療給付費について、医療費の無料化を中学3年生まで拡大する旨の説明がありこれを了承しました。また、子ども手当については、国の動向を注視し、6月支給に向け適正に対処されるよう要望し、これを了承しました。

常備消防費について、一人前の消防士になるための期間を考慮し、職員の定年退職者の推移を見極め、職員の補充を十分検討するよう要望しました。

中央診療所の医師確保については、これまでの取り組みの報告と、今後も鋭意努力する旨の説明を受けました。いずれも原案どおり可決決定しました。

第3分科会（産業建設）

緊急雇用創出事業費について民間委託雇用に係る被雇用者と従来の職員の待遇について均衡が図られるよう要望しました。

福原工業団地について、下水道や工業用水の整備を図るなど企業誘致に向けた環境整備について検討されるよう要望しました。

農地・水・環境保全向上対策事業負担金について、他の多くの地区でも事業が受けられるよう、事務等の指導を十分に行うよう要望しました。雪降り和牛尾花沢のブランド化を推進するため、PRしていただけるような企画を実施するよう要望しました。

花笠高原施設や徳良湖温泉の施設保守点検委託等については、受注者の競争原理を働かせる経費の節減に資されるよう要望しました。除雪の下請契約について十分に調査・把握し、必要があれば指導を行うよう要望しました。付託された案件について慎重に審査した結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決定しました。



3月定例会

一般質問



伊藤精一 議員

雇用の創出について

質 景気の低迷や企業の海外進出などにより、市内でも求職者が増大しており、既存企業の育成も含め企業誘致に、専門員を配置して、誘致の促進を図るべきと思うがどうですか。

市長 昨年までは、産業振興プロデューサーを配置して、企業誘致や企業振興に努めてきましたが、景気低迷による企業の設備投資の落ち込みなどにより成果を上げるのが難しく、今年度の配置は見合わせています。今後は、山形県名古屋事務所に自動車産業振興サロンが開設されており、自動車産業振興ディレクターが2名配置されていますので、指導助言を受けながら、企業誘致に努めていきます。

質 農業の6次産業化の促進についてですが、米価の下落等により農業所得に大きな影響を与えています。すべての農産物の付加価値を高め、所得の増大を図るべきと考えますが、具体的な対策はありますか。

市長 本市においては、4月から「産業振興室」を設置し、地域雇用創造推進事業（パツケー

ジ事業）と併せて、農・商・工・観が連携した6次産業化の具体化に向けて取り組んでいきます。現在の取組み状況としては、市内の食品加工関係の事業所において漬物・尾花沢牛を使用した商品・ビン詰め等の商品が販売されています。

今後、スイカや米粉を使用した加工品をはじめ、そのほかの地元で採れる山菜や農畜産物の商品開発等を図るとともに、直売所等の利活用、学校給食等における地域農産物の利用促進を実施していきます。

質 女性議会・子ども議会開催についてですが、男女共同参画社会が進行している今、女性の声を聞いたり、次世代を担う子供達の声を聞くための議会を開催することについて、どう考えますか。

市長 そのような機会を設定することで、子ども達に市の方向性について、共に考えるきっかけを作っていただけのこと、これからの尾花沢市を背負う子ども達にとっては、非常に意義のあることと思います。



五十嵐佳満 議員

小学英語の必修「賛成」87%
(全国世論調査)について

質 「春から実施される新学習指導要領により英語が小学校5、6年で必修化されることについて『賛成』と答えた人が87%を占めた。経済のグローバル化で英語の活用機会が増える中、学校教育への早期導入に理解が広がっている現状が浮かんた。これは、1月1日山形新聞朝刊の記事です。また、『日本の英語に関する認識は世界に遅れをとっている』と1月31日、国会予算委員会の議論のやり取りで文部科学大臣が答弁で発言しています。

『英語』が『世界共有財産』であれば日本の各界で積極的に取り組み理解を広め、支援を図るべきだと考えます。尾花沢市の前向きな取り組みは何ですか。

市長 本市の小学校でも、小学生のもつ柔軟な適応力を生かして、言葉への自覚を促し、幅広い言語に関する能力や国際感覚の基盤を培うため、中学校段階の英語教育を前倒しするのではなく、国語や我が国の文化を含めた言語や文化に対する理解を深めるとともに、積極的にコ

ミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図ることを目標として、外国語活動を行っていきます。

小学校段階では、外国語に触れたり、体験したりする取り組みを重視していきます。指導者に関しては、各学校における現在の取り組みと同様、学級担任を中心に、ALTとのティーム・ティーチングを基本とした授業を実践していきます。コミュニケーション能力の育成・充実を図るために、ALTとの実践的な場が必要であり、23年度予算にはALTを1名増員し2名の配置をお願いしています。

今後は、小学校と中学校が緊密に連携を図ることが益々重要となります。これまでも、中学校の教師が小学校で授業実践を図り交流を行っていきます。小学校における外国語活動の内容や指導の実態等を十分に踏まえた上で中学校においては、外国語教育への円滑な移行と、指導内容の一層の充実・改善を図る必要があります。



3月定例会

質 問



大類準一 議員

農業振興策と雇用の拡大は

質 村山地域における消防広域化について、これまでの検討経過はどうですか。また、尾花沢市・大石田町の消防行政・救急行政の充実策はどうですか。

市長 本県では平成20年3月、

山形県消防広域化推進計画が策定され、住民サービスの向上と消防力の基盤強化を目的に村山地域では、7市7町の消防長や総務課長等で構成する検討委員会、具体的に協議を行ってきました。しかし、大前提となる署所・財政規模・職員数を維持しての広域化は、調整が難しく、また時間的制約もあることから25年4月までは困難との意見が出され、関係市町長の判断を仰ぐことになりました。その後、11月19日に市長・町長会議で、各ブロックで可能な所から進めるということに決定しました。今後の尾花沢市と大石田町の消防・救急行政の充実・整備については、北村山ブロックを考慮に入れながら、その中で大石田町の問題も考えていきます。質 第6次総合振興計画並びに平成23年度の事業について、基

幹産業である農業の振興策はどうか。また、若者の雇用の拡大や道路交通網の整備による交流事業は、どのように進めていくのですか。

市長 農業の振興策としては、

生産調整田の活用がポイントになるものと思います。尾花沢産品を使用した新商品の開発、各種イベントの開催、産直施設の活用、農産物のPR活動をすすめるため、あらゆる機会にトップセールスを実施していきます。市内にも自動車関連企業がありますので、受注先となる企業との連携が図られるよう、調整と支援を行います。また、交流事業については、4大まつりに訪れた観光客へのアンケート調査の結果などを参考に、利用する交通機関などの情報を分析しながら、交流人口の増大につながる有効策について検討していきます。



山田 輝 議員

「尾花沢10年計画」と「改革」について

質 第6次尾花沢総合振興計画（10年計画）の目玉は何ですか。

市長 市民の皆様と行政が力を

合わせて取り組むまちづくりの理念と目指すべき将来像を「夢がやき絆でむすぶ、元気創造のまちおばなざわ」と定め、農・商・工・観の連携による活力ある産業づくり等7つの基本目標と、重点プロジェクトとして「元気な地域産業創造」「人が集う定住・交流促進」「絆でつくる地域再生」を掲げ、夢と愛着がもてる尾花沢市を目指します。質 20〜30年前の市報を読むと、「あんなことがしたい、こんなことがしたい」という夢に溢れていました。『夢輝き』を基本構想とする尾花沢の現在の『夢』とは何でしょうか。市長 6次産業化の推進や尾花沢ブランドの強化、国道347号の通年通行を見据えた企業誘致、また多彩で魅力ある地域資源を活かした交流の促進や定住・移住の拡大、さらには地域の絆の再生や市民と行政協働のまちづくりを総合的に推進し、元気な尾花沢を目指していきます。

質 全国的に首長や市民が、市議会改革を訴えています。尾花沢市議会でも検討されようとしています。率直なところ、市議会についてどう思われますか。

市長 市民の市行政・議会に対する期待度が一層増しています。

行政と市議会は、市政発展の車の両輪です。先導役を担う市職員の任務もさることながら、市議会並びに議員各位の役割と責務を十分果たすことが、市民のご理解を得られるものと思っています。質 全国的に『地域政党』や『広域連合』など、地域主権に向けて激しく動いています。このような時代の中で、市長はどのように舵取りしていきますか。市長の明確な尾花沢のビジョンは何ですか。市長 「元気な尾花沢を語る会」を通じて市民の声に耳を傾けながら、行政の役割として支援ができる分野について、着実に一歩一歩まちづくりを進めていきます。



3月定例会

一般質問



菅野修一 議員

本市の農業振興について

質 市長公約の農業産出額110億円を突破させて、農業を、まちな元気にしてもらいたい。公約実現に向けた新規諸施策はどんな事業ですか。また、その事業による算出額上積み分は何億円と想定していますか。

市長 農業生産額を上げるための政策としては、「雪降り和牛尾花沢」のブランド化であり、「雪降り和牛」のファン作りを進めていきます。まず、料理人や料理研究者・飲食店経営者・雑誌編集者・カメラマン等の各高感度層のキーパーソンの方たちへ試食会をする機会を設け、「雪降り和牛」についての意見交換をしながら雑誌等のメディアでの紹介など、積極的に情報を発信してもらえよう考えています。また、積極的な情報発信が期待できそうな方に尾花沢を訪ねてもらい、畜産農家と語り合い、実際に「雪降り和牛」の育成方法などを知ってもらおう計画も実施します。

また、すいか等の農産物の販路拡大のため、7月末に東京銀座の本県アンテナショップ「お

いしい山形プラザ」で尾花沢農産フェアを企画しています。さらに、本市の農産物等の加工から販売までを「6次産業化法」の制度を活用し、農業所得の向上を図っていきます。平成23年度の農業生産額の上積み分は、単年度で早急に効果を表すことは難しいですが、以上の政策を実施することで、8億円を目標に努力していきます。

質 若い農業者からの意見として、周年農業のビジョンを求めています。方法として、農業プラント野菜工場の導入等を模索していますが、堅牢な空き校舎を活用した周年農業の展開など、モデル工場の設置を検討してはどうですか。

市長 豪雪地帯の本市では、周年農業は、長年の悲願です。現在、周年農業としては、畜産があります。花弁や葉物などのパイプハウスによる施設活用の周年農業も芽生えており、さらに支援を行っていきます。植物工場の導入は、希望者がいましたら各種補助事業が活用できるよう支援していきます。



大類好彦 議員

市無形文化財まつり囃子と雅楽の育成を

質 センทรัล自動車（トヨタグループ）への就業と地元企業の部品納入について、どのように行っていますか。

市長 市内企業の会社概要や製造品などをまとめた企業パンフレットを製作し、センทรัล自動車をはじめとする大衡村・大和町を中心にした自動車関連企業に売り込みを行います。

また、トヨタの生産管理方式に見合う技術力の向上を図るため、市内自動車関連企業に対し、山形県自動車産業振興会議が主催する次世代自動車研究会の情報を提供しています。

質 豪雪時のスムーズな除雪体制と、空き家の雪下ろし対策をどう対応していきますか。

市長 年々、空き家が増えていく現状です。空き家の実態は、ほぼ管理がなされているが、一部に管理者不明や、権利を放棄しているケースがあります。その対応は一般市民に被害が及ぼさないよう緊急避難的な措置に限定されるものと考えています。

質 市無形文化財のまつり囃子と雅楽について、後継者育成と

保存・伝承をどう行っていくのですか。

市長 双方とも本市にとって、たいへん貴重な歴史的文化遺産ですので、保存会と連携して活動支援を行っていきます。

質 英語教育について、保育園児の時から英語にふれる時間を増やしてはどうですか。

教育長 児童が外国語に触れたり、外国の生活や文化などに慣れ親しんだりすることが認められ、実際、小学校の低学年でも、ALTも授業に参加しての授業が行われてきました。

また、幼稚園や保育園でも、ALTと一緒に活動を年間1、2回ですが、実施しました。外国語でのコミュニケーションを体験させるには、児童の発達段階を考慮して、表現を選定することが大切になります。

来年度から小学校に初めて外国語活動が必修化されるものがあり、児童のみならず、教師への過度の負担にならないように配慮していきます。



3月定例会

一般質問



石塚ミツ子 議員

森のホテルの運営見通しは

森のホテルが、経営努力にも係らず赤字が多額となり、この度、委託料が1千450万円補正をしましたが、残りの赤字と今後の運営はどうされますか。

市長 3月補正予算で指定管理料を増額しましたが、累積赤字は解消されません。そのため、今後の施設の運営のあり方について、検討組織を立ち上げて検討します。

質 国が検討中の保育所システムが導入されたら、利用者と保育園が直接契約となるため、保育料値上げなど、保護者負担増となりませんか。また、県・市の関与も薄れ、保育士の確保や待遇内容が悪くなる恐れがあるが、民営化推進でいいのですか。
市長 「子ども子育て新システム」は、新しい社会保障改革の一つとして、現在政府が検討している最中です。市が「国の基本指針」に基づいて「新システム事業計画」を策定することになりますので、保育サービスや質の低下にならないよう事業計画策定に際し配慮していきます。
質 市町村で担当している国民

健康保険が県一本にしようとしています。高保険税が安くなるのですか。保険証を持っていない人に保険証が渡されるのですか。医者代が安くなるのでしょうか。保険税値上げに歯止めが利かなくなりませんか。
市長 広域化による詳細は、現在、山形県を中心に「広域化等支援方針」を検討中であり未定です。なお、国保制度を維持していくため、国の責任を明確にした上で、県と市町村が役割を分担しながら構造的な問題が解決できる制度の改正になるよう、国に対して要望していきます。
質 国保税値上に一般会計からの繰り入れで歯止めをしてほしい。国保以外の医療保険加入者7割の理解が必要と言ったが国保加入者は退職者や失業者など弱者が加入する保険。福祉の考えに基づき財政支援で国保値上の歯止めをする考えはないのですか。
市長 県内でする所は承知しています。国保税値上について歳入歳出の状況を把握した上で5月頃をメドに色々な意見を聞き検討をする必要があります。



奥山 格 議員

今年の豪雪を振り返っての課題について

質 流雪溝が、今後順次整備されていきますが、特に、本町地区の水を確保することができませんか。新鶴子ダムの水の利用ができないかについて問題はどこにあると考えていますか。

市長 本町地区の流雪溝の水については、現在3路線から導水していますが、水の確保については、取水する河川の水量を増やすしかないものと考えています。新鶴子ダムの冬期間の利用については、①許可水利のため、冬期間は勝手に放流することができないという制限がある②放流後の河川における水利権の取得が必要であり、取得するには水量の把握等、データ作成に時間がかかるということです。これらの問題を整理し、山形県や農林水産省関係機関、国土交通省関係機関と連携をとり、早急に進めていきます。
質 今年米価は差額補償されても、まだ安過ぎます。今後、本市の農家が安心して農業に従事できる対策はどうですか。
市長 平成23年度から本格実施する戸別所得補償制度は、一定

の価格が補償されますので、農家としては、生産調整田の利活用が重要であると考えています。山形県においても、農業所得向上に向けて諸政策が打出されていますので、意欲ある農家に対し、施設園芸・山菜・花卉・新規作物の導入などに対し、各種補助事業を積極的に活用して支援していきます。
質 中央診療所の1ヶ月交代の医師が、4月からはまだ決まっていないということですが、所長一人だけに重い負担をかけることになるのではないですか。もう一人常勤の医師を派遣していただくことはできませんか。
市長 医師不足は、地方の病院において大きな問題となっております。診療所開所以来、日本医科大学からの派遣により医師確保を行ってきましたが、常勤医師の派遣は現実的に難しいものと受け止めています。現在、内科は水・金曜日の午前中に新庄県立病院より派遣があり、23年度も引き続きお願いしています。内科医の確保につきましては、今後も努力していきます。



3月定例会

一般質問



笹原光政 議員

「介護支援ボランティア制度」の導入を

質 国の厳しい財政事情の中、本市の向こう10年間のまちづくりの指標となる「第6次総合振興計画」が策定されました。市民の協力と財源の裏付けがなければ成し得ません。その見通しと決意の程お伺い致します。

市長 厳しい経済状況の中で、本市が直面する重要課題である「定住対策」「産業振興」「元気な地域づくり」「暮らし安全・経済雇用対策」「教育・文化の振興」の5つを柱に据え、限られた財源の中で事業の取捨選択を行い、市民とお約束した「元気な尾花沢」実現のため重点的に予算配分を行っていきます。

質 高齢者の社会貢献や生きがいづくりを増進するとともに、介護保険予防の効果を上げ、介護を支える「地域力」の向上と介護給付費の抑制にもつながる「介護支援ボランティア制度」を導入してはどうですか。

市長 「介護支援ボランティア制度」を実施するには、法人の協力が必要であり、市内の社会福祉法人は、現在、新設、増築、改築という大事業を抱えていますの

で、各法人の運営が受入れ可能になるまで協議しながら、介護支援ボランティア制度の導入について、検討していきます。

質 ユニセフの活動を、学校の教材として取り入れ、発展途上国の子供たちの置かれている実情を学び、「自分たちのできることで世界の役に立ちたい」という心を醸成させるためにも、取り組んではどうですか。

市長 すべての中学校が青少年赤十字に加盟し、日常生活での社会貢献、国際親善への取組を実践している最中ですので、この取組を基盤に、心身を強健にし、人のために尽くす活動を継続していくよう指導していきます。

質 飲酒運転で検挙されれば、失うものの大きさは誰もが知っています。飲酒運転を根絶させるぞとの決意を込めて、「飲酒運転撲滅都市宣言」をしてはどうですか。

市長 関係機関と連携して飲酒運転撲滅運動を展開しています。宣言につきましましては、今後調査検討していきます。



加藤克彦 議員

災害時の危機管理対策を徹底せよ

質 災害発生時の危機管理対策マニュアルを作り、速やかな対応を図ってはどうか。また、災害用備品（土のう・保存食）等の保管の量と保管状況についてはどうですか。

市長 近年、大雨や豪雪と災害が多発しています。初動体制は確立していますが、さらに具体的な行動マニュアルを作っていきます。災害用備品は、土のう・杭・発電機・非常食など保管しています。これからも備品の確保に万全を期していきます。

質 少子化定住対策は、10年先を見据えた斬新な政策を打ち出しているのでしょうか。

市長 新年度新たな対策として、中学校3年生までの医療費の無料化や子ども広場、子育て支援センターを設置します。また、若者民間賃貸住宅等家賃助成事業など実施していきます。今後とも、将来を見据えた支援対策を検討していきます。

質 学校給食の食材は、一部市外業者から納入していますが、地元業者を優先してはどうですか。

教育長 給食用食材は、尾花沢市給食物資納入協会及び市内各地区の商店、(財)学校給食会等より購入しています。今後とも市内業者からの購入に心がけ、献立についても研究し、地元産の農作物を多く提供するよう努めていきます。

質 地元生産の食材を学校給食に使用し、地産池消の観点から食育を図ってはどうか。

教育長 尾花沢市食育推進計画にある「食育推進のための取組目標」の項目の中で、当時の調査では、「食べ物の大切さや感謝の気持ちを持ち、食事のあいさつをする」という調査項目が最も低い項目でした。

学校では子ども達に、栄養指導に加え、食を通して人や自然に感謝する心を育てる指導も行っています。「食育」のねらいの一つに、命のつながりに気づかせる視点があります。動植物の「命をいただく」つながりです。食の背景に広がる命のつながりに気づき、望ましい食習慣を身に付けるよう努力していきます。

可決された議案

1月臨時会

- 議第1号 平成22年度尾花沢市一般会計補正予算(第7号)
- 議第2号 平成22年度尾花沢市簡易水道特別会計補正予算(第3号)
- 議第3号 尾花沢市民生活に光をそそぐ交付金基金の設置、管理及び処分に関する条例の設定について

3月定例会

- 承第1号 平成22年度尾花沢市一般会計補正予算(第8号)の専決処分の承認について
- 議第4号 平成22年度尾花沢市一般会計補正予算(第9号)
- 議第5号 平成22年度尾花沢市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
- 議第6号 平成22年度尾花沢市老人保険特別会計補正予算(第3号)
- 議第7号 平成22年度尾花沢市簡易水道特別会計補正予算(第4号)
- 議第8号 平成22年度尾花沢市国営村山北部土地改良事業特別会計補正予算(第1号)
- 議第9号 平成22年度尾花沢市介護保険特別会計補正予算(第3号)
- 議第10号 平成22年度尾花沢市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第1号)
- 議第11号 平成23年度尾花沢市一般会計予算
- 議第12号 平成23年度尾花沢市国民健康保険特別会計予算

- 議第13号 平成23年度尾花沢市簡易水道特別会計予算
- 議第14号 平成23年度尾花沢市国営村山北部土地改良事業特別会計予算
- 議第15号 平成23年度尾花沢市農業集落排水事業特別会計予算
- 議第16号 平成23年度尾花沢市介護保険特別会計予算
- 議第17号 平成23年度尾花沢市後期高齢者医療保険特別会計予算
- 議第18号 尾花沢市医療費の支給に関する条例の一部改正する条例の制定について
- 議第19号 尾花沢市監査委員条例の設定について
- 議第20号 尾花沢市ふるさと暮らし応援条例の設定について
- 議第21号 尾花沢市地域子育て等拠点施設の設置及び管理に関する条例の設定について
- 議第22号 尾花沢市ほたるの里郷土資料館の設置及び管理に関する条例の設定について
- 議第23号 第6次尾花沢市総合振興計画基本構想について
- 議第24号 尾花沢堆肥センターの指定管理者の指定について
- 議第25号 尾花沢市入湯税の課税の特例に関する条例の設定について
- 議第26号 尾花沢市副市長の選任について

議会案

- 議会案第1号 選択的夫婦別性制度の法制化反対を求める意見書の提出について

昭和村議会だよりでは、追跡シリーズ「あの問題は今……」というコーナーがあり、「以前に当局の答弁が、現在今どうなっているのか検証する欄は大変好評です」とのことでした。他に企画編集体制について多くを学んでくることができ、今後の市議会だより編集に活かしていきたいと思えます。



私達市議会だより編集委員会委員7名は、市民の皆様から一層愛読頂ける市議会だよりの充実に向上を目的として、1月27日・28日の両日に亘り、群馬県昭和村議会だより編集委員会と前橋市議会だより編集事務局を訪問研修しました。

議会だより編集委員会

行政調査報告



請願の審査結果

採択された請願

平成22年請願第17号

◎選択的夫婦別姓制度の法制化に反対することに関する請願
(平成22年12月定例会継続審査分)

東置賜郡高畠町二井宿
日本会議山形
会長

梅津伊兵衛

平成23年請願第1号

◎六沢地区流雪溝の早期整備、冬期流雪用水確保事業の推進に関する請願

六沢第1区長 草刈 武
六沢第2区長 近藤 一昭

平成23年請願第2号

◎県道東根尾花沢線荻袋地区内の流雪溝整備に関する請願

荻袋第1区長 戸津 孝
荻袋第2区長 榎本 信隆
荻袋第3区長 戸津 宣夫
荻袋開拓区長 大類 司

平成23年請願第3号

◎豪雪被害対策にかかる請願
みちのく村山農業協同組合
代表理事組合長

平成23年請願第6号

◎流雪溝整備に関する請願
隴気区長 戸津 貞一

継続審査となった請願

平成22年請願第15号

◎永住外国人への地方参政権付与に反対することに関する請願
(平成22年12月定例会継続審査分)

東置賜郡高畠町二井宿
日本会議山形
会長

平成22年請願第16号

◎外国人地方参政権付与法案に反対することに関する請願
(平成22年12月定例会継続審査分)

東置賜郡高畠町二井宿
日本会議山形
会長

平成22年請願第23号

◎国道347号線バイパス工事に伴う新町第5地区主要道最上線の取付け道路建設工事に関する請願

新町第5区長 奥田 文雄
平成23年請願第4号

◎脳脊髄液減少症(低髄液圧症候群・低脊髄圧症候群・外傷性頸部症候群・外傷性頸部症候群・外傷性髄液漏れ等)の医療に関する請願

脳脊髄液減少症友の会
代表 荒川ミキ子

不採択の請願

平成22年請願第19号

◎高齢者の生活実態に見合う年

金引き上げを求める意見書の提出を求める請願(平成22年12月定例会継続審査分)

全日本年金者組合

尾花沢市若葉町1-8-61

菅藤清一郎

尾花沢市若葉町4-5-19

吉田 春夫

平成23年請願第5号

◎し尿投入量適性配分についての請願

オールイ環境サービス株式会社
代表取締役 大類 司

採択された意見書

◎議案第1号

選択的夫婦別姓制度の法律化
反対を求める意見書の提出について

選択的夫婦別姓は、複数の子どもの姓を統一しなかった場合、家族の一体感を損なう可能性があります。また、夫婦の間には、まれに複数の子どもについては、父親または母親いずれかの姓を選択できる制度になった場合、親子兄弟がばらばらの姓を名乗ることになり、家族としての一体感が維持されるかどうか甚だ疑問です。欧米で言うファミリーネームというものがなくな

り、他人から見ると誰が家族であるかわからない不都合も生じると考えられます。戸籍や住民票の記載も紛らわしいものとなり、行政事務の現場での混乱もきたしかねません。

また、選択的夫婦別姓については、現在夫婦という大人の都合でしか論議されておらず、間に生まれた子どもの人権を損なう可能性があります。子どもの姓を子どもが選ぶという場合において、両親・祖父母・その他の親族など、周辺の大人の都合により、いずれかの姓を強要される可能性があります。この場合、子どもの選択権が著しく狭いものとなり、大人の利害関係に巻き込まれる可能性もあり、状況によっては子どもの人権も侵害する可能性があります。日本以外の諸外国の中には、夫婦別一部の働く女性から旧姓使用を求める声がありますが、これについては民法を改正する必要はなく、各分野の運用面での対応等で解決を図るべきです。以上の事柄を踏まえ、社会の基盤となる家庭や家族を守り、子どもたちの健全な育成を願い、子孫に良き社会を残すため、選択的夫婦別姓制度の導入に反対するとともに、選択的夫婦別姓制度を導入する民法改正案への慎重な対応を求めます。

広域議会の報告

北村山広域行政事務組合

北村山広域行政事務組合議会3月定例会が3月24日村山市議会議場にて開催されました。平成23年度一般会計予算、平成23年度組合経費の負担金など4議案が上程され、いずれも原案の通り可決されました。平成23年度一般会計予算は、



北村山視聴覚センター(村山市)

1億4千633万9千円で前年対比22%増となりました。

また平成23年度組合経費の本市の負担金は2千480万9千円で3市1町総額の22・61%の負担割合となります。

議第3号北村山教育基金条例の制定については、財団法人北

村山教育会から基本財産の寄贈により基金を設置し、北村山の教育振興に活用します。

議第4号 教育委員会委員の任命については、井澤徳夫委員が平成23年4月23日をもって任期満了するので再任のため提案され、これを承認しました。

尾花沢市大石田町環境衛生組合議会

尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会の3月定例会が22日同事業組合議場で開かれ、平成23年度一般会計予算、公共下水道事業特別会計予算、水道事業会計予算、平成22年度一般会計補正予算など5議案を原案のとおり可決しました。また、し尿投入量適性配分についての請願1件を継続審査とし閉会しました。

平成23年度一般会計予算は、総額7億8千582万円で前年度当初比1・35%の増です。一般会計歳入のうち、分担金は尾花沢市が5億1千234万円で、大石田町が1億8千287万円となりました。公共下水道事業特別会計予算は、対前年度比6・81%増の総額7億3千210万円。平成22年

度一般会計補正予算では、124万円を減額し総額7億8千36万円となりました。

なお、公共下水道の本市工事予定地区は新町400m、横町390mとなっております。



尾花沢市大石田町環境衛生事業組合事務所

北村山公立病院組合議会

3月定例会が、3月25日に東根市議場で開催されました。平成23年度の事業会計予算、及び組合を構成する3市1町の負担金額の2議案が上程されました。

23年度事業会計予算は、収入支出ともに55億4千851万円の収支均衡予算となりました。病床

数は360床で、年間患者数を入院11万1千630人(1日平均305人)外来12万4千950人(1日平均510人)と見込んでいます。

資本的支出には、多目的X線血管撮影装置の購入や、東棟の耐震補強工事費など、約2億7千万円を盛り込んでいます。

3市1町の負担金額は、合計で5億1千682万円となり、本市負担分は6千304万円で、普通交付税分を差し引いた実質負担額は、1千371万円となります。

北村山地域医療の中枢をなすものだけに、医師及び看護師の安定確保と、さらなる診療体制の充実が望まれるものです。慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決されました。



北村山公立病院



私のひょうじ



篁原慶一郎さん(野黒沢)

◎信頼し合う心の絆

東北地方から関東沖まで広範囲で起きた太平洋プレートの大移動は世界中を震撼させた。

3月11日(金)午後2時46分に発生した大地震の揺れは激しく長いものだった。その後も大きな地震が今なお続いている。

10メートルをはるかに超える大津波はだれもが予測できなかった。太平洋岸にある町を飲み込む様は地獄絵図を見るおもいであった。

とどめは海岸線に林立する原子力発電所の事故である。

今回の大地震がもたらした災害は途方もなく大きいものであり、政治・経済・行政のみならず日本国民みんなが力合わせて取り組まなければならないものであり、何ができるのか一人ひとりが思いを一つにして問題解決に向けて全力をあげなければならない。

災害後、1ヶ月を経過しているが被害の一部が分かっているだけ、行方不明者の数だけでも尾花沢市民の数を超える。東北・関東で放射能飛散の一部が明らかになってきた。今後の原発事故現場の動きと調査結果に注目していきたい。

武道館に避難している福島県南相馬市の方から「会社が流され、原発事故で避難指示がだされ離れてきた」と聞きました。皆さんは厳冬の避難所でストーブを自ら消して寝るなど、現地に残っている仲間のことを思いやりながらつつましい生活を続けています。市が準備した材料でボランティアの方々が作ってくれた食事や様々な善意で温かく迎えてくれている市民の皆さんに心から感謝しています。

幸い、この災害で助け合う活動の中から忘れかけていた人と人が信頼し合う心の絆が少しずつですがつながり始めています。「失われた事実」を糧に失いかけていた相手の存在を互いに認め合う大切な心を再び造りなおせる機会かもしれません。被災された方々と共に新たな社会と生活を築き上げるために持てる知恵と力を出し切るうちはありませんか。

立ち上がろう、新しい日本つくり！尾花沢つくり！

人のひょうじ

表彰

◎12年表彰

須貝 孝 議員

尾花沢市表彰規則に基づき、永年市の発展に尽された功績により表彰されました。

◎議会事務局人事

議会事務局の職員が4月1日より次のように変わりました。

◎議会事務局長

大高 正史(定年退職)

丹川 弘行

(転入・商工観光課長から)

◎議会事務局議事係長

柴田 誠也

(転出・尾花沢市大石田町環境衛生事業組合管理課長へ)

吉野 真広

(転入・社会教育課文化体育施設・学習情報センター管理運営係長から)

よろしくお願

いたします。

あつがき

3月11日に東北の太平洋岸を中心に壊滅的な被害を及ぼした東日本大震災の復興費用は少なくとも約14兆〜23兆、国内総生産(GDP)の3〜5%相当と試算されています。施設、発電所、住宅、工場、港湾などのインフラに甚大な損害が出ています。その再建は、4〜5年かかると予想されています。「大切な人命や住宅が失われた」ということは、たとえインフラや工場を再建しても、その工場を支援してきたコミュニティが消えたことになり「とに変わりにない」と思います。日本の各政党が今回の危機をきっかけに、長期的な財政問題に取り組まない限り、そのような(信頼が失われる)転換点の到来は地震によって若干早まった可能性があります。第2次世界大戦終戦後以来の大々的なインフラ再建を迫られ、国民が希望の持てる政治的判断に期待したいと思います。(加藤)

市議会だより編集委員

◎菅野 修一 ○笹原 光政

伊藤 精一 奥山 格

石塚ミツ子 加藤 克彦

五十嵐佳満

◎委員長 ○副委員長